

# 介護労働者の精神的緊張とその影響に関する研究

平成 13 年度報告書

本年度は、在宅介護サービスの介護労働者 800 名に対して、ストレス要因、ストレス反応について前年度と同様にアンケート調査を実施し、3 年計画の最終報告書を作成した。施設介護職、在宅介護職のいずれにおいても介護職の社会的位置づけが低いこと、介護の技術・知識の不足がストレス要因として多くあげられた。

## 研究委員会メンバー

(主 査)長 田 久 雄	東京都立保健科学大学 教授
(委 員)米 山 淑 子	老年行動学会 理事
朝 日 雅 也	埼玉県立大学保健医療福祉学部 講師
香 取 幹	(株)やさしい手 常務取締役
矢 吹 貴 夫	(株)明治生命 F S 研究所 研究員
(事務局)野 村 雄三郎	(財)雇用開発センター 常務理事
井 上 ナホミ	(財)雇用開発センター 研究調査部長
荒 井 直 子	(財)雇用開発センター 研究調査部研究員

## 目 次

第 1 章	研究の目的
第 2 章	平成 13 年度調査概要
第 3 章	居宅介護職を取り巻く就労環境
第 4 章	平成 13 年度調査結果
第 5 章	まとめ
	おわりに
	資料編

## 調査の対象及び内容

### (1) 「介護労働者の精神的緊張とその影響に関する」調査

調査時期 : 平成 13 年 9 ~ 10 月

調査対象 : 居宅介護サービス事業所 90 ヶ所の介護職 800 名 (通信郵送調査)

回 収 数 : 258 人 (有効回収率 : 32.3%)

### (2) ヒアリング調査

調査時期 : 平成 13 年 9 ~ 12 月

調査対象 : 居宅介護保険サービス利用者、計 40 名